

自己改革取組宣言(案)

これまでも、これからも、地域とともに JA埼玉ひびきのは総合事業を展開します

- ◇ 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- ◇ 協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合を深めます。
- ◇ 「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとって、なくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業活動を行う中で、営農相談や暮らしの相談活動を通じ、地域農業の振興や地域づくりに取り組みます。

また、農業者以外の方については、「地域農業の応援団」として位置づけ、准組合員としての活動を通じ、農業との関わりを深め、地域農業の発展に向けた関係強化に取り組みます。

農業者と地域農業の応援団が、JAの総合事業を通じて関係強化を図ることで、地域農業の発展や豊かな暮らしの実現に向け、更なる発展を図ります。

JAは総合事業を展開することで、JAの経営基盤の安定化が図られ、営農関連部門に重点を置いた事業展開が可能となります。

【令和3年度までの達成目標】

販売品販売高80億6千万円
直売所販売高13億4千万円
購買品供給高43億3千万円

これからの主な取り組み

1. 魅力ある産地づくりへの提案

当JAならではの産地づくりを進め、消費者ニーズに対応した販売提案を行い、契約取引の拡大及び直接取引の販売拡大を図ります。

2. 農産物直売所を通じた地域の活性化

多様な担い手による多品目の生産や新規作物の導入支援を通じ、直売所が組合員、地域住民の集まる施設として、地域活性化を図るため、生産者と消費者が交流する収穫体験等を開催します。

3. 生産コスト低減に向けた取り組み

省力化・低コスト技術の提案及び普及、土壌診断結果に基づく適正施肥の提案や資材価格低減策（直送・自己どり、予約注文の奨励）を積極的に活用し、生産コスト低減を図ります。